

第20回米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会の概要

- 開催日時 令和元年6月5日(水) 1330～1430
- 場 所 京丹後市役所峰山庁舎 2階会議室
- 出席者 【京都府】総務部副部長、丹後広域振興局長
【京都府警察本部】警備部警備第一課課長補佐(警備第一課長代理)
【京丹後警察署】警備課長(京丹後警察署長代理)
【京丹後市】副市長
【地域住民代表】京丹後市区長連絡協議会会長
宇川連合区長会会長
京丹後市防犯委員会会長
京丹後市女性連絡協議会理事
丹後町袖志区長
丹後町尾和区長
島津連合区代表
【米軍経ヶ岬通信所】第14ミサイル防衛中隊長
【航空自衛隊】経ヶ岬分屯基地総務人事係長(隊長代理)
【近畿中部防衛局】企画部長、管理部長、京丹後現地連絡所長

○近畿中部防衛局からの説明

I 経ヶ岬通信所における状況等

- (1) 工事等の状況
- (2) 交通事故の状況等

II 住民の安全・安心

- (1) 交通安全に対する取組
- (2) 交通誘導及び巡回警備

III 日米交流及び地域振興策の状況

- (1) 日米交流等
- (2) まちづくりへの支援

IV その他

- (1) 近畿中部防衛局広報誌について

○米軍経ヶ岬通信所挨拶

- ・ 私たちの将来を切り拓くために友好関係の構築及び強化をしている。特に経ヶ岬周辺の気候も暖かくなり、私の職員はこの地に住み、地域と協力していくことを楽しんでいる。
- ・ 経ヶ岬飛行制限区域における入域調整について、緊急時における入域調整の手順を日米両者が習得し、これらの重要な要請をより迅速にプロセスできるよう近畿中部防衛局及び市、京都府そして宮津与謝及び京丹後消防署と取組んでいる。これは私たちにとって大変重要なことである。

- ・ 先般、緊急を要するメンテナンスを行う必要があり、夜間及び週末に発電機を稼働させた。あいにく、これは我々も事前に予期しなかったものだった。私は発電機のメンテナンス担当者に対し、可能な限り夜間及び週末にメンテナンスを行わないよう再度周知したので、ご理解の程宜しく願います。
- ・ 生活関連施設の整備工事について、地域の方々のご辛抱とご理解にお礼申し上げます。今後も工事に向けた努力を継続しながら進めていくと共に、情報提供を行うようにする。
- ・ 私の職員は安全運転に必要な訓練を継続している。先月5月、可能な限りの職員が近畿中部防衛局及び地元警察署が開催した運転講習会に参加した。私たちは今後も安全なドライバーであり、日本の運転に関する法律及び規則を遵守していく。私たちの目標は交通違反及び事故を最小限にすることであり、これは私にとって重要である。
- ・ 最後に、地域交流において、私たちは数々のボランティアイベントを開催した。私がこれらのイベントに言及する理由は、私たちが地域に積極的に参加したいと思っており、米国の任務を行うためだけにこの地にいるのではないことを示したいからである。

○出席者の意見等の概要

(1) 発電機の土日・夜間稼働について

【意見要旨】

- ・ 今般の発電機の土日・夜間稼働について、緊急を要するメンテナンスのためとの説明があったが、発電機のメンテナンスだったのか。 (地域住民代表)

【回答要旨】

- ・ 米軍からは電力供給システムのメンテナンスと聞いているが、具体的にどこのメンテナンスが必要だったかという詳細については確認できていない。 (近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 今回の発電機の連続運用については、住民から区に直接の苦情は寄せられていないが、「なるべく月曜日から金曜日の日中に稼働させるよう努める」というこれまでの説明と異なる運用に懸念を示す住民がいたのは事実である。今後は、これまでの説明になるべく沿った形での運用に努めていただくとともに、米軍から今回のような24時間稼働に関する情報があつた場合には、なるべく迅速に地元提供していただくよう要望する。 (地域住民代表)
- ・ 発電機の稼働については、地域の方々の思いを受け止めていただいて、説明にあつた通りの運用に努めてもらいたい。また、今後も、現地連絡所等を通じて、地域の方々の安全・安心対策に必要な情報の入手に努めていただき、得られた情報についてはなるべく迅速な対応に努めていただきたい。 (京丹後市)
- ・ 発電機の騒音の問題について、地元からの要請を踏まえて、メンテナンス等で稼働させる場合は、地域住民の影響が最小限となるよう、平日の日中のみに限るとともに、地域住民への影響に配慮して、出来る限りの情報を迅速に提供されたい。

(京都府)

【回答要旨】

- ・ 今般、2週間近くにわたって土日・夜間の稼働が続いたことに対しては、地元自治体及び一部の地域住民から懸念の声が寄せられたため、当局から米軍に対して、メンテナンス等で発電機を稼働させる際は、地域住民の方々に与える影響が最小限になるよう、できる限り土日・夜間の稼働を控えるよう申入れをしている。

米軍によれば、今後も、メンテナンス等のため、やむを得ず土日・夜間に発電機を稼働させる必要が生じる可能性があるが、今後とも、なるべく月曜日から金曜日の日中に稼働させるよう努めたいとのことであり、また、当局としても、米軍から情報が得られた場合には、速やかに地元自治体及び地域住民代表の方々にお知らせしてまいりたいと考えているので、ご理解を賜りたい。

(近畿中部防衛局)

(2) 第Ⅱ期工事について

【意見要旨】

- ・ 第Ⅱ期工事の完成予定時期はいつ頃になるか。また、当初の説明では、土曜日の工事は実施しないと聞いていたが、最近の工事予定にずっと土曜日の作業が入っている理由如何。(地域住民代表)

【回答要旨】

- ・ 米軍の第Ⅱ期工事については、平成29年8月の本連絡会の時点の情報として工期は約2年の予定と聞いていたとご説明しているが、その後、厚生施設の建設が決定し、また、資料中、点線で囲ってお示ししている部分のように、米側が予算を確保した後、施設整備を実施する可能性がある場所も残っているものと承知しているので、現時点で工事の完成時期について確たることをお答えできる段階にはない。

また、第Ⅱ期工事が本格的に開始する前の本連絡会等で、工事の作業時間は、原則として月曜日から金曜日とご説明したのは事実であるが、昨年の大雨や台風災害の影響もあり、やむを得ず土曜日の作業実施が必要になっている部分もあるものと考えている。

いずれにしても、当局としては、引き続き、米軍の第Ⅱ期工事について情報の入手に努め、新しく得られた情報については、本連絡会や当局の広報誌等の枠組みを使って、丁寧な説明に努めてまいりたいと考えているので、ご理解を賜りたい。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 第Ⅱ期工事について、示された作業日や時間帯、交通対策や環境対策を遵守され、交通安全を含め地元住民に対する影響を必要最小限に抑えるよう業者への指導も含め徹底して対応されたい。示されている計画図の内容から建物の位置等が変更された等がある場合には、地元へ丁寧に説明されたい。

(京都府)

(3) 交通事故の状況等及び交通安全対策

【意見要旨】

- ・ 交通事故に関する情報の開示は、あくまでも地域住民の安全・安心確保のための事故の再発防止及

び未然防止が目的である。軽微なものと重大なものの線引きはグレーであると思っているが、防衛局としては努力して情報を開示していただきたい。(地域住民代表)

- ・ 前回の本連絡会で、防衛局から、米軍関係者の軽微な自損事故については、今後は件数のみの報告としたいとの説明があった際、自分としてはそれなりに納得して聞いていたが、会議の翌日にその対応に対して一方的に非難する報道が出たことには困惑している。

警察や自衛隊、防衛局、京都府、京丹後市のいずれの機関の職員についても、軽微な自損事故等について事故の詳細な報告はなされていないのに、一部の方が宇川の米軍基地だけに、全ての事故の詳細な報告を求めていることには違和感を覚える。(地域住民代表)

【回答要旨】

- ・ ご承知のとおり、昨年2月までは、米軍人等が関わる交通事故について、例えば脱輪やガードレールへの接触など軽微な自損事故も含めて、その事故の内容を連絡会で報告してきたところだが、他の地域における事例や事件・事故発生時の通報手続に関する日米合同委員会合意との関係なども整理した上で、前回の本年3月の安全・安心連絡会から、交通事故情報の報告内容について変更し、物損事故等については、その具体的な内容について報告することは控えさせていただくこととしたところである。

今後、あってはならないことだが、万が一、飲酒運転など悪質なものと重大な交通事故等が発生した場合は、情報収集に努め、これまで通り、速やかに関係者に情報提供するとともに、事故の未然防止対策等を協議するため、その状況等をその都度の連絡会で報告させていただく。

その上で、当局としては、交通安全講習会や交通安全マップの提供など、米軍や自治体、地元の方々との連携しながら、より一層地域の方々の安全・安心の確保に向けて取り組んでいく。また、道路の安全確保のため、道路整備への助成についても、引き続き取り組んでまいりたい。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 前回の連絡会以降、物損事故が1件あったとのことだが、これについて、事故処理に特段の問題があった等、地域の方に迷惑をかけた事故だったのかどうかという点を確認したい。(京丹後市)

【回答要旨】

- ・ 報告した物損事故1件については、ガードレールに接触するといった、相手方のいない事故と承知している。(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 交通事故があった場合には、その対策を図っていくことがきわめて重要であり、迅速かつ適切に報告されたい。

スピードの出し過ぎの注意、一旦停止など、日本の道路・交通事情を心得ていただき、また、歩行者等への思いやりなど、事故を起こさないための運転の気構えについて、改めて周知されたい。

交通安全対策について、地域住民から解決に向けた意見等が出された場合には、防衛省におかれ

ては真摯に受け止め、丁寧に対応されたい。また、任意保険の加入について、改めて徹底するよう米軍に要請されたい。
(京都府)

【回答要旨】

- ・ 米軍人等の任意保険加入については、米軍の規則によって義務化されており、経ヶ岬通信所においてはしっかりと確認がなされているものと承知している。全国的には、防衛省として、任意保険加入徹底を在日米軍に働きかけていく。
(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 交通事故の防止に向けて交通安全講習会などに取り組んでいる点は評価しているが、集団通勤について、ワンボックスカーに通勤されている方は当初から減っており、事実かどうかはわからないものの、私有車で通っている方が当初より増えているとの声がある。地元として集団通勤を求める理由は、交通事故を未然に防ぐためなので、そうした観点から引き続き取り組んでいただきたい。
(地域住民代表)

(4) その他

【意見要旨】

- ・ ドクターヘリの飛行制限区域への入域に係る調整においては、関係者間のスムーズな連携が必要不可欠なので、引き続き適切に対応されたい。
(京都府)
- ・ これまでに交通事故や発電機の騒音など様々な課題があり、そしてこれからも様々な課題が出てくるかもわからないが、同じ丹後で暮らす者として、誰もが安全・安心かつ快適に暮らせるのが一番であると思う。米軍及び防衛局においては、地元の意見をしっかりと受け止めていただいて、迅速かつ丁寧に対応していただきたい。また、相互理解の促進に向けて、これからも努めていただきたい。
(京都府丹後広域振興局)
- ・ 交通事故の話や発電機の話など難しい話になりがちで、地元は殺気立っているのではないかと誤解を与えかねないが、海岸清掃や地元のお祭り、幼稚園児から年配の方まで参加する英会話交流会に多くの米軍関係者が参加して交流を深めている。地元積極的に溶け込もうとする米軍関係者の姿勢に敬意を表するし、また、地元と良好な関係を築こうとする友好的な姿勢に、地元区長として真摯に応えていきたいと考えている。
(地域住民代表)
- ・ 先日実施した久美浜の海岸清掃には、米軍関係者の方も15名参加いただき、その後の懇親会も含めて、和やかな空気の中で交流を深めてもらった。国際交流協会としては、今後もハロウィンのイベントや、日本の食文化、お寿司の体験をしていただくなど、楽しい企画を考えているので、引き続き積極的な参加を楽しみにお待ちしております。
(地域住民代表)

以上